



田尻町議会だより

たじりの風

8291

Vol.89

平成23(2011)年
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000

田尻幼稚園
たじりエンゼル



田尻小学校



運動会 体育祭



田尻中学校



田尻小学校

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 4 頁
- ★ 議決結果 7 頁
- ★ 意見書 8 頁
- ★ この人にインタビュー(新企画) 8 頁

一般質問

- 吉開 育子 議員
 1. 第5期介護保険料の引き下げを求める
 2. 国保料の納付を9ヶ月から毎月に変更できる制度をもっと住民に周知を
- 小川 雄司 議員
 1. 金田町長が町内に在住する町職員を含む一部の有権者・町民へ私費で品物を贈った疑いについて
- 大門 久恭 議員
 1. 吉見ノ里駅前踏み切りの拡幅を
- 中川 達夫 議員
 1. 本町での災害対策について



吉開 育子 議員

問 基金を全額取り崩し、介護保険料の引き下げを

答 基金は取り崩すが、引き下げとは考えていない

問 共産党議員団は、昨年秋に介護保険料の値下げを求める署名をつけた町民アンケートを全戸配布しました。その結果、郵送での返信を中心に284名の署名が集まり、8月23日に町当局に提出しました。

高齢者の生活はこの11年間で、増税と医療費の窓口負担増加の一方と年金給付の削減で大変苦しくなっており、保険料の値下げが求められています。田尻町の介護保険料は、月4,368円で高齢者はこれ以上の負担は限界です。

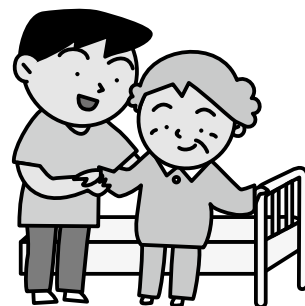
現在、平成24年度～26年度までの第5期介護保険事業計画の策定が進められています。田尻町の平成22年度の基金残高は2,728万円あり、高齢者1人あたり1万5,714円余っています。第4期保険料を決めるにあたり、基金を1,000万円残し、介護給付抑制と保険料の取り過ぎで3年間の基金がふくらんでいます。これは、高齢者に返すべ

きお金です。

国は保険料設定の基本的な考え方として、介護給付費準備基金の剰余額は次期計画期間に歳入として繰り入れ、保険料上昇抑制に充てる考えで積局的な取り崩しを自治体に示しています。

また、大阪府の基金も高齢者1人あたり10,000円の黒字です。基金を全額取り崩して第5期保険料を引き下げるべきです。

答 基金は取り崩すが保険料の引き下げとは考えていない。国から示される計算式で保険料を算出し、そこではじき出される金額はいくらになるかわからないが、その金額に対して軽減させるために基金を取り崩すということ考えている。



小川 雄司 議員

問 公選法に触れる疑いをしたことを認め、自浄能力の発揮を

答 警察に説明に行き、配った物の回収に努め、信頼回復に取り組む

問 金田町長は今年5月頃から町内に在住する町職を含む一部の有権者や町民に、私費でかしわ餅や高級茶などを購入し、それぞれの町民宅を訪問し贈った。公職選挙法に触れる疑いのある事実を認め、すべての町民、有権者に謝罪し、猛省することを求めます。そして、回収可能な高級茶などの品物を回収し、信頼関係を回復するための行動をとるように求めます。

公職選挙法は、現職の政治家や立候補の意思のある人が選挙区内の人や団体に金品を贈ることを禁じております。総務省は、このことについて政治家と有権者のクリーンな関係を保ち、選挙や政治の腐敗を防止するために、政治家（候補者、立候補予定者、現に公職にある者）と私たち有権者とのつながりはとても大切だと。しかし、金品や品物で関係が培われるようなことでは、いつまでもたっても明るい選挙、お金のかからない選挙に近づくことはできませんと述べています。

答 指摘の件については、議会や町民の皆様にも多大なるご迷惑とご心配をかけたことに心より深くお詫び申し上げます。私費で品物を訪問して贈ったのは事実であるが、公選法に抵触する疑いのある行為との認識はなかった。可能な限り回収に努める。また警察にはこちらから出向き、説明する。



明るい選挙のイメージキャラクター
“選挙のめいすいくん”

大門 久恭 議員

問 吉見ノ里駅前踏み切りの拡幅を

答 要望に応えられるように努める

問 吉見ノ里駅前踏み切りの拡幅の件について、踏み切りで自動車が電車の通過待ちをしているとき、自転車や歩行者が前の車に割り込み、遮断機が上がると斜め横断するため、事故が起きる可能性がある。車と歩行者・自転車を区別するよう、南海電鉄株式会社と早急に協議すべきだと思うが、どのように考えているのか。

答 現在、南海電鉄株式会社とは協議を進めている。指摘のとおり、踏み切り部が狭くなっており、田尻町としては、車道と歩道とを区別し、拡幅するように、今後も南海とは継続して協議を行い、要望に応えられるように努める。



問 地域防災計画の見直しと 防災対策の取り組みは

答 順次進めていく

問 今年3月に東日本大震災で多大な生命財産が失われ、あらためて地震、津波の悲惨さが住民の不安となっている。

そこで本町として防災計画の見直しと対策はどのように進めているのか。

答 今回の東日本大震災を受け、国、府をはじめ本町を含めた沿岸部の市町は、今までにない広範囲での防災対策の見直しを余儀なくされている。現在、行われている国の中央防災会議による防災対策や指針、さらにはそれを受けて策定される府の方針等々について整理されるまで一定期間が必要であり、防災計画書自体の変更は来年度以降になる見込みである。

また、今後については、伝達、避難を最優先と考え、

特に浸水被害の可能性のある区域においては避難ビル協定を進める。さらに地域力として住民同士のきずなを深めるための取り組み等を順次進め、住民が安心して住めるよう努める。



委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 中川 達夫

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。 (9月7日開催)

◎田尻町災害弔慰金の支給等に関する条例一部改正の件
(支給対象の拡大) 【全会一致で可決】

◎田尻町の都市行政に関する事務を泉佐野市に委託する件
(権限委譲事務の委託) 【全会一致で可決】

問 今回、泉佐野市に25項目の事務を委託するということが、年間の委託料はいくらかかるのか。また、事務の執行が1件もなくとも支払わないといけないものなのか。

答 1項目あたり年間15万円程度になると思われる。執行がなくとも相談や事務連絡等の業務はあるので、それらを含めての金額となっている。

◎平成23年度田尻町一般会計補正予算(第2号)の件
(4,701万3千円の増額) 【全会一致で可決】

問 標高表示看板は何枚作成し、どのような箇所に設置するのか。

答 30枚程度作成し、公共施設や大きな交差点、人目につきやすい所に設置したいと考えている。また、協力いただける民家の壁や塀にも設置していきたい。



◎平成23年度田尻町水道事業会計補正予算(第1号)の件
(債務負担行為の追加) 【全会一致で可決】

問 水道料金のコンビニ収納を実施すると、全国どこのコンビニからでも支払い可能となるのか。

答 選定する収納代行業者がどこのコンビニを取り扱っているかにもよるが、ほぼ全国どこのコンビニでも支払い可能になるものと考えている。

文教厚生常任委員会

委員長 高木 謙治

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。 (9月9日開催)

◎田尻町税条例一部改正の件
(罰則水準の引き上げ) 【全会一致で可決】

決算特別委員会

委員長 仁部 順行

◎田尻町営プール設置管理条例全部改正の件

(指定管理者制度の導入) 【賛成3、反対1で可決】

問 多目的グラウンドに加えて町営プールも同じ指定管理者が管理運営することになると、業務内容が広範囲となり、プールの安全管理に支障を来さないのか。

答 指定管理者の選定については、金額面だけでなく、プール管理の専門性や実績、監視体制等の安全面を重視して決定していくので、安全管理面については現在より充実が図られることになる。



反対討論 命に関わる現場では、町が直営で十分費用をかけ、責任を持って安全を確保すべきである。

賛成討論 直営管理だと監視員経験のない臨時職員を雇うこともあるが、指定管理者制度を導入することで、プール管理の専門性と実績のある業者を選ぶことができる。

◎平成23年度田尻町一般会計補正予算(第2号)の件

(4,701万3千円の増額) 【全会一致で可決】

問 防犯灯のLED化に対して府補助金が入るとのことだが、何箇所ぐらい実施する予定なのか。

答 今年度は20~25灯を設置する予定である。数年をかけて町全体の防犯灯をLED化したいと考えている。

◎平成23年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)の件

(1,158万3千円の増額) 【全会一致で可決】

問 コンビニ収納を実施するにあたり、国保料の収納方法別の割合とそれぞれの納付率はどうなっているのか。

答 収納方法別の割合は口座振替57%、金融機関や役場での窓口納付29%、特別徴収(年金からの天引き)14%となっており、納付率は口座振替96%、窓口納付72%、特別徴収100%となっている。コンビニ収納を実施することで、国保加入者の利便性を高めることができると考えている。



◎平成23年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の件

(227万8千円の増額) 【全会一致で可決】

◎平成23年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第1号)の件

(3,165万7千円の増額) 【全会一致で可決】

決算特別委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(9月12、13日開催)

◎平成22年度田尻町一般会計決算認定の件

【賛成6、反対2で可決】

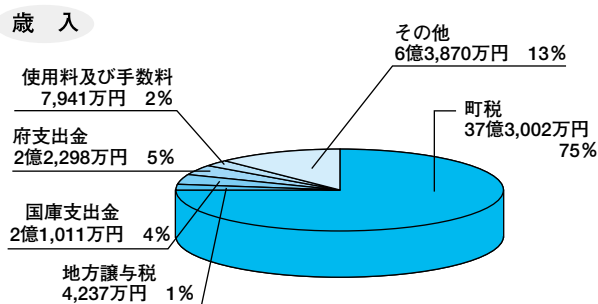
歳入

問 空港関連税収はいくらになるのか。

答 固定資産税や法人税等を含めて約25億9,000万円になる。

問 民主党政権になってから新たに入ってきた交付金の主な用途は。

答 主なものとしては、地域活性化・きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金、緊急雇用創出基金事業交付金がある。それぞれ、駅上広場の整備、公民館の図書室等の図書の整備、保育補助事業や観光事業に使用した。



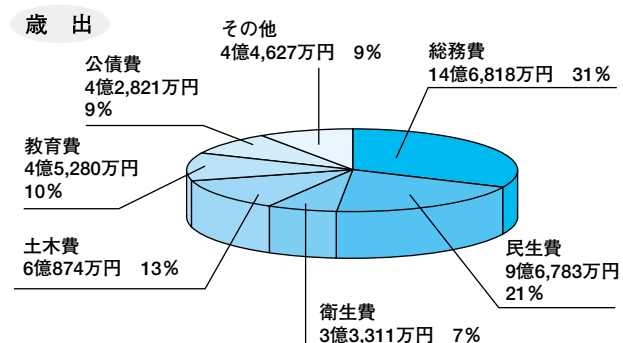
歳出総務費

問 本庁舎の省エネ改修工事を行うことによって、実際どれくらいの効果があったのか。

答 6~8月の3ヶ月を昨年の同時期と比べると、電気使用量では約2,000~4,000ワット少なくなっており、ガス使用量については、ほぼ半減している。

問 万一、津波によって本庁舎が浸水した場合、防災行政無線が使用できなくなる恐れはないのか。

答 災害時でも対応できるよう、2階に設置している防災行政無線のサーバーを別の場所に移設するという方法もあるが、費用面も考慮する必要がある。近隣市町村と情報交換をしつつ、現在検討中である。



委員会報告

民生費

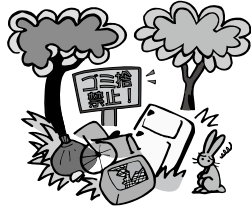
問 緊急雇用創出基金事業交付金を活用して保育士補助員2名を雇用しているが、これによって待機児の解消につながったと考えているのか。

答 事業自体の性格としては、就労体験的な要素の強い事業で待機児童を解消する為のものではないと理解いただきたい。ただ、実際は人手がプラスされ戦力になっていると考えている。

衛生費

問 不法投棄対策としてどのようなことをしているのか。

答 年2回、泉佐野警察と連携して投棄されやすい箇所等を合同パトロールし、不法投棄の防止に努めている。また、生活環境課の職員が週に1回程度パトロール車による町内巡回を行っている。



労働費

問 就労支援講座の内容と実績はどのようになっているのか。

答 ホームヘルパー2級養成講座を実施した。10名の方が受講され、全員資格を取得し、これにより就職された方は4名である。

農林水産業費

問 遊休農地対策推進協議会とはどのような協議会か。

答 たまねぎ祭りの開催や古代米、吉見早生の栽培といった町の特産品の発掘・普及、また、幼稚園・保育所の子どもたちに体験農業を通して食育を行うといった事業により農業を振興し、遊休農地を解消していこうという趣旨の協議会である。



商工費

問 企業誘致促進奨励金によって、産業振興と雇用機会の拡大が図られるとあるが、企業誘致を行った企業に雇用された人数は具体的にはどれくらいになるのか。

答 これまで3社の企業誘致を行ったが、2社については145名と40名の従業員中、町内在住の方はそれぞれ13名と15名である。もう1社については、現在町内在住の従業員はいないが、機会があるごとに町内の方を採用していただけるようお願いしている。

土木費

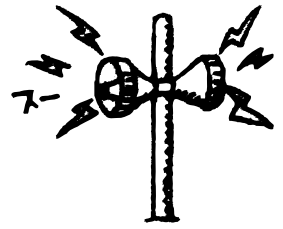
問 老朽化している町営露ノ口住宅は建て替えずに修繕で対応とのことであるが、早急に修繕が必要となった場合の対応は。

答 これまでと同じように戸別に判断し、修繕が必要であれば早急に直していきたい。

消防費

問 全国瞬時警報システム(J-ALERT)整備工事の内容は。

答 大規模な地震や大津波警報、弾道ミサイル情報など対処に時間的余裕のない事態に関する国からの緊急情報を、人工衛星を介して受信し、自動で防災無線のスピーカーからサイレンや音声で瞬時に住民の方に伝達するシステムの整備を行った。



教育費

問 子ども110番の旗は犯罪を抑制する効果が高いように思うが、毎年購入しているのか。

答 毎年、約3万円の予算の範囲内で購入している。また、22年度末には泉佐野中央ライオンズクラブの方から旗の購入にということで10万円の寄附をいただいた。これらを活用してできるだけ多くの本数を購入し、毎年計画的に使用していきたい。

反対討論 幼稚園3歳児保育の復活、中学校総合運動場の防球ネットの整備など、町民の要望が盛り込まれていない。

◎平成22年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)

決算認定の件

【賛成7、反対2で可決】

問 国民健康保険特別会計は22年度も1,000万円近い黒字となっているが、基金を取り崩して保険料を引き下げないのか。

答 現在、診療報酬の支払いが増えており、また今後、後期高齢者医療制度がどうなるのかも不透明である。基金については、単年度で全額取り崩して保険料の引き下げを行うというより、将来にわたって保険料が安定するよう運用していきたい。



反対討論 国保料の賦課限度額を国に準じて引き上げることに賛成できない。

◎平成22年度田尻町老人保健特別会計決算認定の件

【全会一致で可決】

◎平成22年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件

【賛成7、反対2で可決】

問 後期高齢者医療制度の被保険者数は。また、24年度に保険料が改定されると思うが、どのようになる見込みか。

答 被保険者数は22年度末で893名である。24年度以降の保険料については現段階では全くわからない。



【反対討論】 田尻町の責任ではないが、政権交代の折に後期高齢者医療制度を廃止し老人保健制度に戻すとの公約があったにもかかわらず、それらが実行されず保険料の引き上げが行われている。

◎平成22年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件

【全会一致で可決】

【問】 3年連続で介護保険特別会計は黒字となっているが、この黒字分を住民に還元する考えはないのか。

【答】 24年度以降の介護保険料については、第5次介護保険事業計画を策定中であり、具体的に答えることはできないが、保険料を軽減するため、基金を取り崩していきたいと考えている。

◎平成22年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件

【全会一致で可決】

【問】 もし津波被害があった場合、吉見ポンプ場の機能は大丈夫なのか。

【答】 東日本大震災後に発表された大阪府のシミュレーションでは、りんくうタウンも浸水する可能性があるとの事である。吉見ポンプ場はガラス張りになっており、今後対策を考えていかなければならないが、自家発電が2階にあるので、ポンプ等は浸かる可能性もあるが、緊急時の動力確保はできるものと考えている。

◎平成22年度田尻町水道事業会計決算認定の件

【全会一致で可決】

【問】 建設改良事業ではどのような工事を予定しているのか。また、浄水場の老朽化対策は。

【答】 23年から27年の5年間で、浄水場の電気設備、ポンプ等の更新に係る工事を予定している。今後の老朽化対策については、水道事業の広域化という話が出ている中で、どこまで設備更新を行うかについて、また審議いただきたい。



第3回 定例会議決結果

平成23年 9月 5日開会

平成23年 9月26日閉会

件 名	結 果
・ 工事請負契約変更の専決処分の件	全会一致で承認
・ 田尻町税条例等一部改正の専決処分の件	全会一致で承認
・ 新たに生じた土地を確認する件	全会一致で可決
・ 町の区域を変更する件	全会一致で可決
・ 公平委員会委員を選任するにつき同意を求める件	全会一致で同意
・ 固定資産評価審査委員会委員を選任するにつき同意を求める件	全会一致で同意
・ 教育委員会委員を任命するにつき同意を求める件	全会一致で同意
・ 平成22年度泉南地域広域行政推進協議会打切決算認定の件	全会一致で認定
・ 平成22年度決算に基づく財政健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告の件	全会一致で承認
・ 田尻町税条例一部改正の件	全会一致で可決
・ 田尻町災害弔慰金の支給等に関する条例一部改正の件	全会一致で可決
・ 田尻町営プール設置管理条例全部改正の件	賛成7：反対2で可決
・ 田尻町の都市行政に関する事務を泉佐野市に委託する件	全会一致で可決
・ 平成23年度田尻町一般会計補正予算（第2号）の件	全会一致で可決
・ 平成23年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）の件	全会一致で可決
・ 平成23年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件	全会一致で可決
・ 平成23年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第1号）の件	全会一致で可決
・ 平成23年度田尻町水道事業会計補正予算（第1号）の件	全会一致で可決
・ 平成22年度田尻町一般会計決算認定の件	賛成7：反対2で認定
・ 平成22年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件	賛成7：反対2で認定
・ 平成22年度田尻町老人保健特別会計決算認定の件	全会一致で認定
・ 平成22年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件	賛成7：反対2で認定
・ 平成22年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件	全会一致で認定
・ 平成22年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件	全会一致で認定
・ 平成22年度田尻町水道事業会計決算認定の件	全会一致で認定
・ 損害賠償の額を定める専決処分の件	全会一致で承認
・ 平成23年度田尻町一般会計補正予算（第3号）の件	賛成8：反対1で可決
・ 平成23年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の件	賛成8：反対1で可決
・ 平成23年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件	全会一致で可決
・ 泉州二次医療圏の救急医療・地域医療の充実を求める意見書	全会一致で可決

意見書

◎泉州二次医療圏の救急医療・地域医療の充実を求める意見書

全会一致で可決

趣旨 第三次救急医療に責任を持ち、泉州救命救急センターへの補助金の廃止・削減をしないこと等。

【一部抜粋】

提出者：坂口 実 賛成者：明貝 一平
提出先：大阪府知事／大阪府健康医療部長

新企画!!

この人にインタビュー

田尻町地区連合会会長
元 辻 登さん (76歳)

連合会長には今年4月に就任したばかりの元辻会長に、ざっくばらんなお話を聞きました。

Q 今の趣味は何ですか？

A サラリーマン時代はゴルフもしていたが、今は写真撮影が一番楽しい。今年1月から公民館の写真クラブに入り、いろいろ撮影している。秋祭りでは、100枚くらい撮りましたね。

Q 連合会長のお仕事はたいへんお忙しいですが、健康の秘訣は？

A 歩くことは嫌いですが、規律正しい生活をして食事時間を守るのかな。

Q 連合会長として力を入れたいことは何ですか？

A 地区代表なので地区の意見交換、対話の場をつくりたい。防災訓練するにも助け合いが大事。そのためには、お互い協調しなければならない。また、連合会が行政との窓口になること。

Q 町政・町議会に望むことは？

A 子どもを大切にしてほしい。保育所の運動会を見に行くと狭いと思った。のびのびとした環境をつくっ

てあげてほしい。

議会だよりは、議会の結果しかわからない。日程等を事前に公表したり、議会の開会の知らせを町内にある掲示板にも貼って、いつやっているのかわかりやすいようにしてほしい。

また、平成25年度は町制60周年にあたるので、記念行事としてイベントを開催したいと考えているが、連合会単独では困難であるので町にも協力をお願いしたい。田尻町地域交流会（29団体）にも連合会として提案したい。内容は検討中であり、是非とも実現したい。



議会日程の周知方法は現在のホームページだけでなく、今後いろんな方法を模索します。約1時間半でしたが有意義なインタビューになりました。ありがとうございました。

田尻議会の キョット 教えて

Q 寄附はしたらあかんの??

A 公職選挙法により、議員等は、選挙区内の人（法人、その他の団体を含む）に対しての寄附は禁止されています。

また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

静岡県清水町議会が来町

去る8月3日、静岡県駿東郡清水町議会の総務建設委員会が「行政改革について」視察研修で来町されました。

